



アグリカフェ



9月11日に龍谷大学の先生、学生さんに学校まで来てもらい、講演をしていただきました。内容は、「豆が世界を救う」をテーマに豆の特徴や窒素肥料を使わない農業などについてでした。

豆に含まれる栄養素の話などはとても興味深いものでした。

また、窒素肥料の使用は温室効果ガスを排出するらしく、農業は何となく環境にいいものだと思っていたけどそうでないこともわかりました。

左下の写真は根粒の写真です。

マメ科の根にできるこの塊には根粒菌という菌が含まれていて、この菌は植物が直接取り込むことのできない窒素を取り込みやすい形にしてくれるそうです。みんなで顕微鏡を使って観察しました。



近畿学校農業クラブ連盟



近畿大会で最優秀賞を受賞した人達は、日本学校農業クラブ全国岩手大会に出場します。

全国大会に出場する人にインタビューしてきました。

インタビュー結果

<きのご班>

Q1.どんな研究をしているか

A. コーヒー残渣を使ったきのこの菌床栽培

Q2.研究の目的、どんな世界になってほしいか

A. 京都はコーヒーの消費量が多い→コーヒー残渣を有効活用。

将来的にはコーヒー以外も使って環境に配慮した食生活を。

Q3.全国大会への意気込み

A. 最優秀賞を取りたいです。また、研究内容を多くの人に伝えたいです。



<京野菜班>

Q1.どんな研究をしているか

A. ・絶滅しそうな聖護院キュウリの保全

・京都市の小学校に苗を持っていく食農教育

・来年は京野菜の特徴を活かす加工品づくり

Q2.研究の目的、どんな世界になってほしいか

A. ・新たな京野菜ブランドが出来る

・種の多様性が減らない

Q3.全国大会への意気込み

A. 最優秀賞取ります！！



プロジェクト翔龍会

皆さん頑張ってください！

